

## 【畜産研究・支援部門】

畜産研究・支援部門は、自給飼料に立脚した家畜生産と、安全で美味しい農畜産物生産の拡充と促進を目指し、以下の活動を実施する。

### 1. 持続的な産業動物生産に資する研究および支援

- ・ 産業動物の生産効率向上に関する研究（長命連産、生産効率化、損耗予防、遺伝的改良、非破壊的評価）
- ・ 飼育形態の改良と適正化（適正飼養プロトコル、栄養管理、衛生管理）
- ・ 飼料生産基盤の強化（矮性ネピアグラス、自給粗飼料、作付け体系、放牧利用、代替濃厚飼料の生産および開発）
- ・ 家畜生産基盤の強化（畜産食品製造、プロバイオティクス、低コスト型疾病管理）
- ・ 飼料資源の開発（自給飼料、未利用・低利用資源、エコフィード、機能性飼料、サイレージ）
- ・ 防疫基盤の強化（野生動物、病原体伝播、食の安全）
- ・ 家畜飼養密度を考慮した畜産経営モデルの検討（家畜飼養密度、畜産経営モデル）
- ・ 口蹄疫禍に学ぶ地域交通計画（車両消毒ポイント）

### 2. 県・地域との連携強化

- ・ 県・畜産関連団体等の会議・事業への参加
- ・ 畜産経営者との共同研究および技術支援

### 3. 研究ネットワークの強化および次世代育成

- ・ 客員教授・研究員等によるセミナーの開催